

第 1 章 气象概况

第1章 気象概況

第1 台風23号の経路

台風23号は10月13日09時にマリアナ諸島近海で発生し、18日18時に大型で強い勢力となって沖縄の南海上を北上した。19日には沖縄本島から奄美諸島沿いに進み、20日13時頃、大型で強い勢力のまま、高知県土佐清水市付近に上陸した後、15時過ぎに室戸市付近を通過、18時前には大阪府泉佐野市付近に再上陸し、19時頃京都府南部を通り、東海地方へ進み、21日3時に関東地方で温帯低気圧となった。



○印は9時、●印は21時の位置を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧・温帯低気圧の期間を示す。

第2 大雨の原因

京都府北部で大雨に至った気象条件として次のような状況が考えられる。

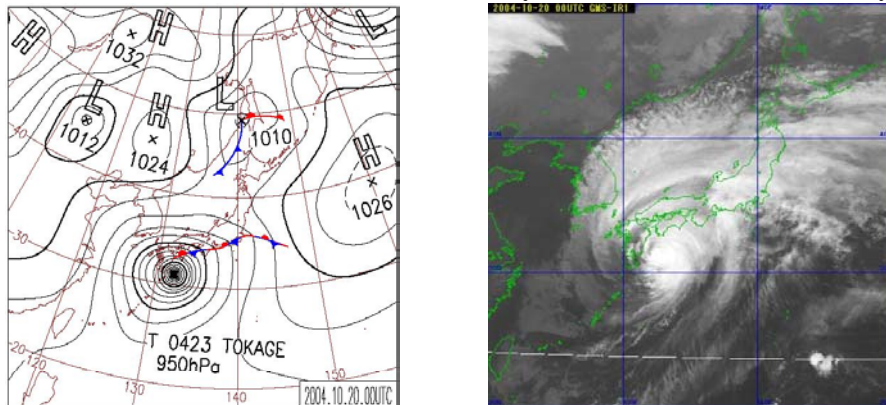
台風第23号が四国の沿岸付近から京都府付近を通過するまでの間、南東から南の風が強まり、南海上から暖かい湿った気流が継続して流入した。

日本海上から流入する北東よりの冷たい風が流れ込んだ。

前述の北東気流により前線活動が活発となった。(模式図参照)

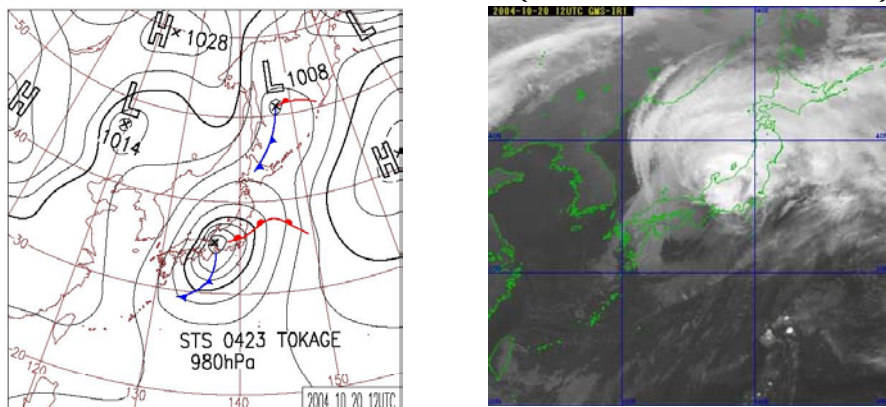
こうした気象条件が長時間継続して重なったため、大雨となった。

図1 - 2 - 1 地上天気図と衛星画像 (平成16年10月20日09時)



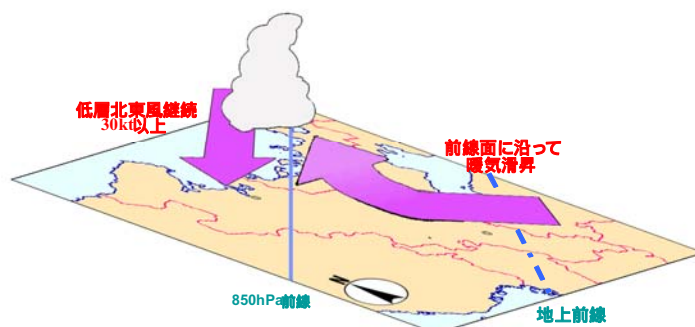
資料提供：京都地方気象台

図1 - 2 - 2 地上天気図と衛星画像 (平成16年10月20日21時)



資料提供：京都地方気象台

図1 - 2 - 3 降雨の模式図



第3 台風23号による大雨の状況

宮津市上世屋雨量観測所では、12時間雨量325mm、24時間雨量352mm、総雨量では385mmに達するなど、昭和28年水害(台風13号)以来の記録的な豪雨となった。昭和30年代からの日雨量の記録が存在する舞鶴観測所では観測開始以降、最大の日雨量を記録した。

24時間雨量 (10/20 0時 ~ 10/21 0時)

図1-3-1 等雨量線図(24時間)

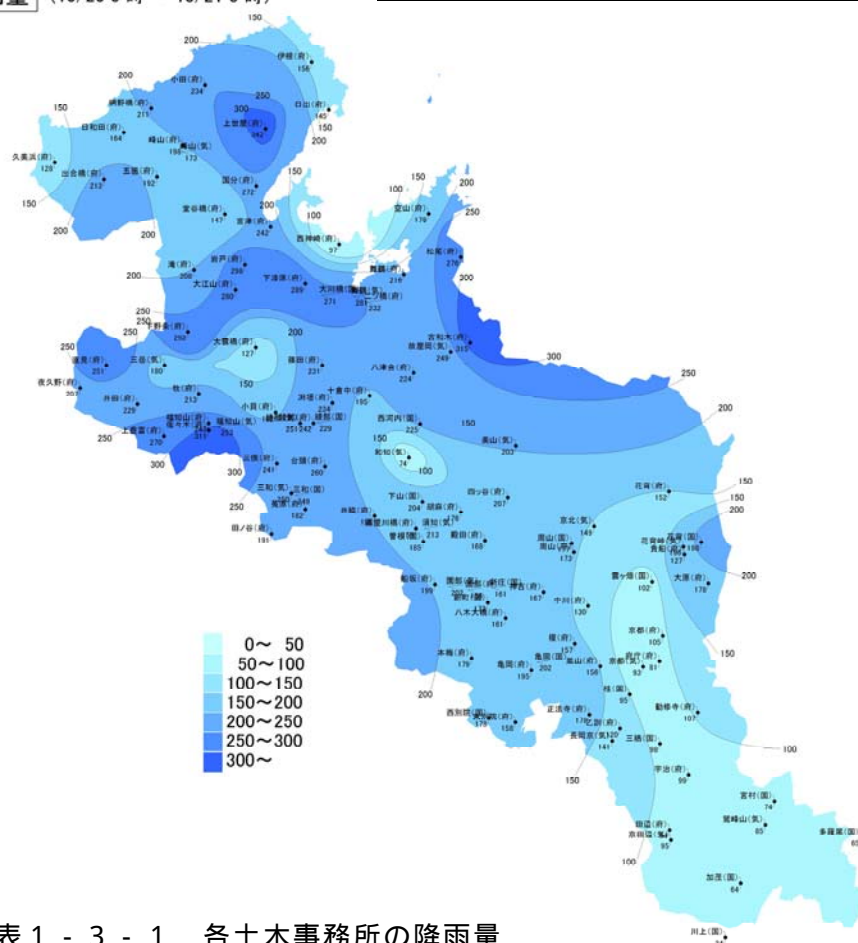


表1-3-1 各土木事務所の降雨量

事務所	総雨量(雨量観測所名)	時間最大雨量(雨量観測所名)[日時]
京 都	230 mm (左京区:大原)	36 mm (左京区:大原) [20日 16 ~ 17]
乙 訓	242 mm (西京区:正法寺)	44 mm (西京区:正法寺) [20日 16 ~ 17]
山城北	166 mm (八幡市:八幡)	23 mm (宇治市:宇治) [20日 18 ~ 19]
山城南	141 mm (宇治田原町:鷲峰山)	15 mm (笠置町:笠置) [20日 14 ~ 15]
南 丹	265 mm (日吉町:四ツ谷)	45 mm (亀岡市:東別院) [20日 17 ~ 18]
北桑田	241 mm (京北町:周山)	36 mm (京北町:周山) [20日 16 ~ 17]
中丹東	364 mm (綾部市:古和木)	48 mm (舞鶴市:下漆原) [20日 15 ~ 16]
中丹西	370 mm (福知山市:佐々木)	49 mm (福知山市:佐々木) [20日 16 ~ 17]
丹 後	385 mm (宮津市:上世屋)	51 mm (宮津市:上世屋) [20日 15 ~ 16]
大野ダム	381 mm (美山町:洞)	39 mm (美山町:洞) [20日 20 ~ 21]

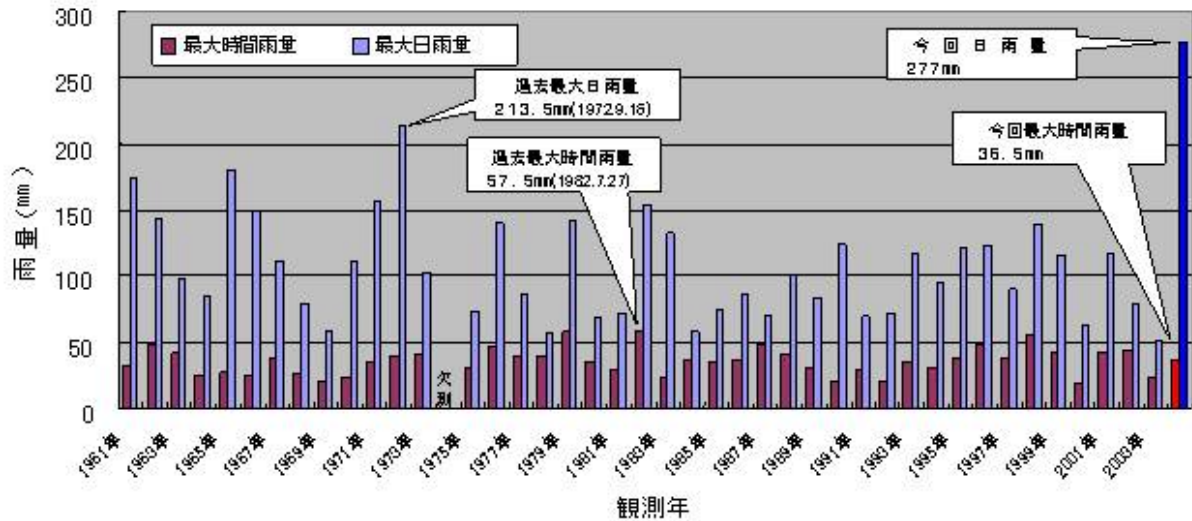


図 1 - 3 - 2 年最大日雨量及び時間雨量図 (舞鶴観測所)

表 1 - 3 - 3 過去の主要水害との比較

区分	28年水害 (台風13号)	34年水害 (台風15号)	57年水害 (台風10号)	今回 (台風23号)
総雨量	489mm(舞鶴)	290mm(峰山)	244mm(田歌)	385mm(上世屋)
日雨量	339mm(上林)	230mm()	183mm()	342mm()
時間雨量	72mm(峰山)	36mm(久美浜)	35mm(峰山)	51mm()